ISベース柱脚工法設計・施工標準図
(SPT-HG:角形鋼管用 保有耐力接合タイプ)
【ベースプレートめっき用貫通孔付き仕様】

一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCJ評定－ST0282-04（2024年11月15日）

国土交通大臣認定番号（アンカー用ボルトセット） ※（ ）はミルメーカーと加工工場を示す。			
MBLT-0116	M24～M48（朝日工業・アイエスケー中島工場）	MBLT-0180	M24～M48（朝日工業・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0144	M30～M48（JFE条鋼・アイエスケー中島工場）	MBLT-0181	M30～M48（JFEスチール・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0164	M52～M76（JFE条鋼・アイエスケー前橋工場）		

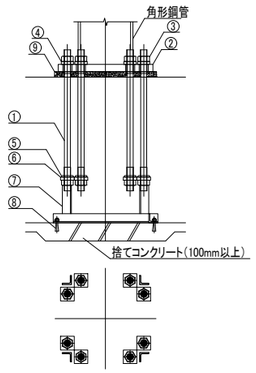
適用柱材（F値=235N/㎟, 275N/㎟, 295N/㎟, 325N/㎟）
□250×250～□450×450

2025年8月作成

アイエスケー株式会社
（大阪本社） TEL 06-6449-0881
FAX 06-6449-0877
（東京支店） TEL 03-6661-6925
FAX 03-6661-6926

1.構造概要

8本ボルトタイプ



① アンカーボルト　② ベースプレート(※めっき用貫通孔付き)
③ ー種ナット(シングルナット)

※土間コンクリート等で被覆する場合は、シングルナットを標準仕様とする。
被覆されない場合は、ダブルナットまたは六角リングにて緩み止めを行う。

④ 丸座金　⑦ セットフレーム
⑤ 六角リング　⑧ セットアンカー
⑥ 定着板　⑨ モルタル(30～50mm)

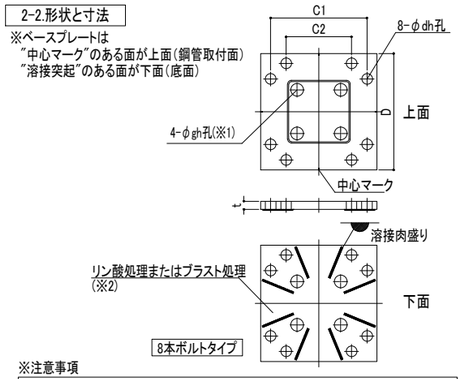
2.ベースプレート

2-1.材質

JIS G 3136 SN490B(t=40mm以下の場合のみ使用)
建築構造用認定鋼板 TMCP325B(板厚の制限なしで使用)

2-2.形状と寸法

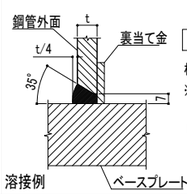
※ベースプレートは
"中心マーク"のある面が上面(鋼管取付面)
"溶接突起"のある面が下面(底面)



※注意事項

(※1)めっき用貫通孔は、アイエスケー(株)にて加工することを原則とする。

(※2)ベースプレートをめっきした場合、ベースプレート下面の摩擦係数(0.4以上)を確保するため、必ず下面にリン酸処理またはブラスト処理を行う。



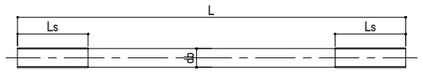
2-3.柱材との溶接

柱材とベースプレートの溶接は、完全溶け込み溶接とする。
※溶接施工に関しては、
「日本建築学会 建築工事標準仕様書 JASS 6鉄骨工事」
に準じる。

3.アンカー用ボルトセット

3-1.アンカーボルト

材料: 大臣認定材料(ISB740C,ISB740E)

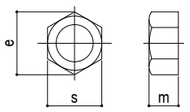


(mm)

品番	呼び径	ピッチ	db		L	Ls
			ISB740C	ISB740E		
A33	M36	4.0	33.15	33.0	775	130
A41	M42	4.5	38.92	38.8	745	145
A42					845	

3-2.ナット

種類: 1種六角ナット JIS B 1181
強度区分: JIS B 1052 8

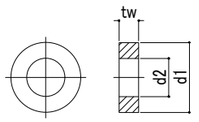


(mm)

呼び径	m	s	e
M36	29	55	63.5
M42	34	65	75.0

3-3.丸座金

材質: 一般構造用圧延鋼材 SS400

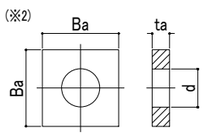


(mm)

呼び径	品番	d1	d2	tw
M36	C3	68	37	16
M42	C4	78	43	19

3-4.定着板

材質: 一般構造用圧延鋼材 SS400

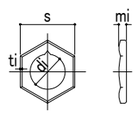


(mm)

呼び径	品番	Ba	ta	d
M36	P3	75	16	38
M42	P4	85	19	44

3-5.六角リング

材質: JIS G3131 SPHC



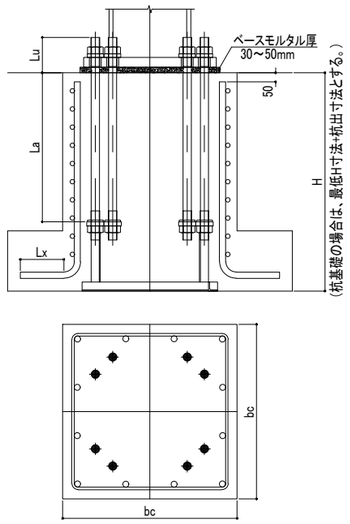
(mm)

呼び径	S	di	mi	ti
M36	55	33.6	8	2.0
M42	65	39.2	9	2.3

4.コンクリート柱形

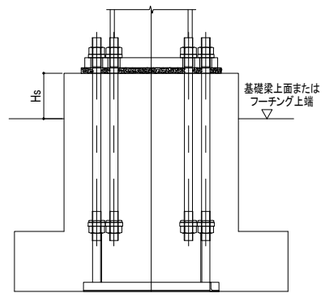
4-1.使用材料　コンクリート: Fc=21N/㎟ 以上
鉄筋: JIS G 3112 SD295A(D16以下)
JIS G 3112 SD345(D19以上)

4-2.形状・配筋



・主筋頂部のフックは、設けないことを標準とする。
・トップフープは、シングルを標準とする。
・Lxは、使用する主筋呼径の10倍以上とする。
なお、Lxの定着方向は指定しないため、内側に向けても問題ないものとする。
・主筋、帯筋の径・本数は、標準柱形の場合を示す。
・柱形の幅(bc)を標準柱形より拡げた場合、検討が必要。
柱形を拡げる場合や、柱芯が偏心する場合は、弊社までご相談ください。

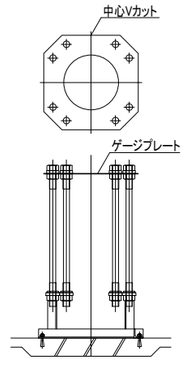
4-3.基礎立上り部



・柱形の配筋が標準の場合
基礎立上り高さ(Hs)は、250mm以下とする。
・立上り高さ(Hs)が250mmを超える場合は、
検討が必要となるため、弊社までご相談ください。

5.施工

※( )は、元請施工範囲を示す。
6.[コンクリート打設前検査]は、契約内容による。



アンカーボルト据付図

1.施工打合せ
2.(捨てコンクリートの打設)…捨てコン厚さは100mm以上とする。
3.(墨出し)…柱芯を明示する。
4.アンカーボルト据付
5.(配筋・型枠)
ゲージプレートを外したり、上に物を置いたり、乗ったりしない。
アンカーボルト、セットフレーム等と鉄筋を拘束しない。
アンカーボルトに熱を加えない。
6.[コンクリート打設前検査]
7.(コンクリート打設)
8.(鉄骨建方・アンカーボルトの本締)
まんじゅう高さは(30～50mm)とする。
まんじゅうに使用する材料に規定はない。
まんじゅうの大きさは施工マニュアルを参照。
9.ベースモルタルの充てん…ISグラウト以外は使用不可。
10.ナットの緩み確認
11.(充てん型枠脱型・廃棄)

6.施工管理

・ISベースの施工(アンカーボルトの据付およびベースモルタルの充てん)は、弊社が認定した施工者が行う。
・施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内にあることを確認する。
・材料は弊社にて支給する。支給品以外の材料を使用した場合、ISベースの性能を保証できない場合がある。
・アンカー用ボルトセットは大臣認定材である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

採用	柱脚記号 (ベースプレート記号)	鋼管サイズ (mm)	適用鋼管(mm) ※柱材は、指定JIS規格品または大臣認定品とする。 柱材の基準強度(N/㎟) 235	275・295	325	ベースプレート D (mm)	C1 (mm)	C2 (mm)	dh (mm)	gh (mm)	t (mm)	アンカーボルト 本数-呼び径(品番)	Lu (mm)	La (mm)	コンクリート柱形(標準) bc(最小～最大) (mm)	主筋	帯筋	Lx (mm)	コンクリート強度 (N/㎟)	最低H寸法 (mm) ※杭基礎の場合は(最低H寸法+杭出寸法)
	SPT251HG (S4548T)	□250	t≦16	t≦16	-	480	380	230	φ50	φ40	45	8-M36 (A33)	155	550	680～980	20-D22	D13@100	220	21以上	700以上
	SPT301HG (S4052)	□300	t≦12	t≦12	t≦9	520	420	270	φ50	φ45	40	8-M36 (A33)	150	550	700～840	24-D22	D13@100	220	21以上	700以上
	SPT302HG (S4553T)		t≦16	t≦16	t≦12	530	420	250	φ58	φ45	45	8-M42 (A41)	165	500	850～950	32-D25	D13@100	250	21以上	650以上
	SPT303HG (S5057T)		t≦19	t≦19	t≦16	570	440	270	φ58	φ45	50	8-M42 (A41)	170	500	850～950	32-D25	D13@100	250	21以上	650以上
	SPT351HG (S4560T)	□350	**t≦12**	**t≦12**	**t≦9**	600	460	290	φ58	φ55	45	8-M42 (A42)	165	600	810～1000	28-D22	D13@100	220	21以上	750以上
	SPT352HG (S5062AT)		t≦16	t≦16	t≦12	620	500	330	φ58	φ55	50	8-M42 (A42)	170	600	830～1150	28-D25	D13@100	250	21以上	750以上
	SPT401HG (S4565T)	□400	t≦12	t≦12	t≦9	650	540	370	φ58	φ65	45	8-M42 (A42)	165	600	860～1100	28-D25	D13@100	250	21以上	750以上
	SPT451HG (S5073T)	□450	t≦12	t≦12	t≦9	730	620	450	φ58	φ70	50	8-M42 (A42)	170	600	950～1260	32-D25	D13@100	250	21以上	750以上